

2021年8月23日

公益社団法人日本カーリング協会
大会開催における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

1. 感染症対策ガイドライン

本ガイドラインは、参加者や大会に携わる関係者の安全を確保するために、公益社団法人日本カーリング(JCA)協会のガイドラインをもとに作成したものです

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況、社会状況などに応じて、随時改定されますので、最新の基本方針を活用してください。

本ガイドラインが、大会開催における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の全てを網羅してはいないので、信頼できる関係機関が発信する情報を常に確認し、十分な対策を講じてください。本ガイドラインに記載のない事項が、必ずしも対策が不要ということではありません。

公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会策定「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン(令和2年5月14日[令和3年2月15日改訂])」のとおり、当該大会が開催される都道府県知事の方針に従うことが大前提で、開催や実施の判断に迷ったときは、開催地や施設が所在する都道府県のスポーツ主管課や衛生部局等へ相談します。

参加者や大会にかかわる関係者の皆さまは、下記の項目をよくお読みいただき、内容を承諾したうえで大会にエントリーするよう、また安心・安全な大会運営にご協力いただきますよう、お願いいたします。

感染症対策のための誓約事項

お申込みをいただいた場合には、以下の事項を了承し、遵守することを誓約いただいたものとします。

1. 本大会の感染症対策や中止規定並びに、個人情報の取得、目的、提供の内容について了承します。
2. 以下の場合、参加を辞退します。
 - ① 大会当日に発熱した場合や、大会前2週間以内に体調管理チェックシートの項目に当てはまる症状がある場合。
 - ② 大会前2週間前以内に、PCR検査もしくは抗原検査で陽性反応があった場合。
 - ③ 新型コロナウイルス感染症陽性と診断された方との濃厚接触がある場合。
 - ④ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - ⑤ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
3. イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症への感染が発覚した場合は、JCA事務局に報告し、自治体や保健所等の調査に協力します。
4. 大会後に感染症を発症した参加者が発見された場合には、その感染経路の特定に協力します。

競技会運営上の重点対策

(1) 選手・コーチ(予備登録選手、チームスタッフ含む)

1) 全般/会場派遣まで

- ・一般的な感染対策を確実に実行してください。

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html#c2>

- ・現地入り14日前からはサージカルマスク、不織布マスクの使用をお願いします。

・毎日の健康(起床直後の検温等)と行動の記録を習慣としてください。また、大会参加時は最低でも現地入り 14 日前から現地出 14 日後までの健康状態、行動内容を健康管理アプリまたは体調管理チェックシートに記録してください。

・大会に参加される方は、大会当日に体調管理チェックシートを提出していただきます。事前送付されるチェックシートに基づき、大会 2 週間前の体調確認・検温結果を記録してください。大会当日、提出していただけない場合や虚偽の記入をされた場合は参加をお断りすることがあります。(参加者から提出された個人情報、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、参加者の健康状態の把握、開催・参加可否の判断及び必要な連絡調整のためだけに使用し、保存期間経過後に責任をもって廃棄します)。なお、参加者の中から、新型コロナウイルス感染症を発症した又は感染の疑いがある方が発見された場合は、必要な範囲で、保健所、行政機関等に情報を提供し、開催地の自治体の対処方針に従い適切に対処することとします。その際には行動内容の提出をお願いします。行動内容が記載されていない場合、提出していただけない場合や虚偽の記入をされた場合は参加をお断りすることがあります。

・コーチは、選手の健康状態、行動内容を常に把握、管理してください。

・同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいないか常に確認してください。

・現地入り前に体調不良(例:発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚の異常など)が出現した場合、平素の活動を中止し、かかりつけ医等の最寄りの医療機関又は受診・相談センターに電話、相談の上、必要に応じて PCR 検査等を受けてください。

・感染者への対応

大会開催日の 2 週間前の時点もしくはそれ以降に、PCR 検査もしくは抗原検査で陽性反応があった場合、感染者は参加を辞退してください。

・濃厚接触者への対応

保健所から濃厚接触者と認められた場合、14 日間にわたり健康状態を観察する期間を経過し、症状が出ていない場合、大会参加が可能です。

・感染疑い者(体調不良〔例:発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚異常など〕の症状があり、PCR 検査もしくは抗原検査で「陰性」であった者、または医療機関を受診しなかった者)への対応

現地入りの 2 週間前の時点もしくはそれ以降に感染疑い症状が発症していた場合、インフルエンザ等の新型コロナウイルス以外の感染症のリスクもあるため、原則当該選手は参加を辞退してください。但し、次の A 及び B の両方の条件を満たしている場合、大会への参加を認めます。

A. 感染疑い症状の発症後に少なくとも 8 日が経過している(8 日が経過している:発症日を 0 日として 8 日間のこと)。

B. 薬剤を服用していない状態で、解熱後及び症状消失後に少なくとも 72 時間が経過している

但し、上記 A、B を満たさない場合であっても、薬剤を服用していない状態で感染疑い症状が消失し、新型コロナウイルスの感染リスクが低いこと(注 1)(注 2)(注 3)を示す医師の診断書があれば、大会参加は可能ですが、JCA への報告が必要です。PCR 検査等が推奨されます。

(注 1):「新型コロナウイルスの感染リスクが低いこと」を示すため、PCR 検査等が推奨されます。

(注 2):「新型コロナウイルスの感染リスクが低いこと」には、新型コロナウイルス感染症以外の傷病も考えられます。

(注 3) : 医療機関を受診し、新型コロナウイルス以外の疾患である旨の医師の診断に基づき、当該症状に対し服薬指導を受け、処方された薬剤についてはこの限りではありません。

- ・会場に行く前に検温をお願いします。
- ・喫煙は重症化のリスク因子と考えられているため、禁煙を強く推奨します。
- ・インフルエンザワクチン接種を推奨します。

2) 会場入りから競技会期間中

① 移動

- ・自宅もしくはホテル出発前に検温を行い、健康状態を記録してください。発熱があったとき、発熱がなくても体調がよくない場合(例：発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚の異常など)は会場へは行かず、自宅もしくはホテルでの待機と主催者への連絡をお願いします。病院での診察をうけ、結果が出るまでチームはホテルでの待機をお願いします。
- ・チーム専用の移動手段を手配してください。
- ・公共交通機関を利用する場合は、感染予防の観点から、移動中のマスク(サージカルマスク、不織布マスク)の着用、手指衛生の徹底、必要に応じた換気の実施、必要以上の会話や飲食は避け、さらに可能な限り座席をまとまって搭乗、乗車し、一般客との接触は避けてください。

② ホテル

- ・チェックイン手続きについては、代表者が一括で行って下さい。
- ・部屋割りは、一人部屋が望ましいですが、困難な場合は、極力少人数の部屋割りとなるよう配慮してください。複数人での利用の場合、室内では常時マスクを着用することが望ましいです。
- ・部屋の換気を良くしてください。推奨されている室内湿度である 50~60%に保つよう心掛けてください。
- ・食事の時は、時間差で、距離(できるだけ 2m、最低 1m)を空けられるようにし、必要以上の会話は控えてください。やむを得ず会話をする場合は、食事中であってもマスクを着用してください。
- ・食事の時は、ホテルからの指示等に従い、感染のリスクを低減するよう努めてください。
- ・共用部では、混雑が起こらないよう譲り合って使用するとともに、人数制限などホテルからの指示等に従ってください。
- ・チームのミーティングなどは、ビデオ会議(オンラインミーティング)を活用し、選手らの接触を、極力避けるようにしてください。対面で実施する場合は、部屋の広さ(参加者間ができるだけ 2m、最低 1m) や換気に留意し、「3 密」の状態とならないようにしてください。
- ・選手の治療やコンディショニングに際しては、多数が一度に集まらないように工夫し、部屋の換気を繰り返してください。マスク・手袋・手指消毒など標準予防策をとった上で対応してください。また、環境や使用する器具等の消毒を行ってください
- ・体調不良(例：発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚の異常など)を訴える者が出た場合は、主催者、ホテルに速やかに連絡し、体調不良者を隔離してください。

③ 競技会場

- ・競技会場では、設置された消毒液の使用やこまめな手洗いなどによる手指衛生の徹底を図ってください。

・競技会場内での移動や待機時は、マスク（サージカルマスク、不織布マスク）を着用してください。大会がマスクを準備するときは、大会が準備したマスクの着用をお願いします。大会が求める感染防止対策に従っていただけない場合は、参加をお断りする場合があります。

・必ず指定された入場口から会場内にご入場ください。

・会場内に入る際は、主催者の指示に従い、体温測定を受けてください。また、体調管理チェックシートを必ずご提出ください。※事前に記入を済ませて持参願います。

・発熱が確認された場合は、新型コロナウイルス感染の有無にかかわらず、会場への入場や大会への参加をお断りする場合があります。

・会場における導線やエリアコントロール等のゾーニングなどについては主催者の指示に従ってください。

・体調管理チェックシートの提出をお願いします。

・ロッカー（更衣）室や選手参集・待機所、コーチングエリアなどでは、主催者の指示等に従い、「3密」を回避する行動をとってください。また、不要な会話・接触は控えてください。

・ウォームアップを行うときは、主催者の指示等に従い、「3密」を回避する行動をとってください。

・新型コロナウイルス対策とともに、アンチ・ドーピングの観点から、水分補給のためのペットボトル等の共用はしないでください。また、ペットボトル等は所有者が分かるよう記名や目印を記すようにして、他者から触れられないようにしてください。

・事前に申請を承認された報道員（報道員ビブス等を着用した者）からの取材を受ける場合は、運営者の指示等により予め指定された場所でのみ対応してください。また、対応時は、必ずマスクを着用し、相手との距離（できるだけ2m、最低1m）を保ってください。なお、運営者の指示等に従わない者（ビブス等を着用していない者やマスク未着用の者からの取材、所定の場所以外での取材等）からの求めには応じないでください

・会場内にゴミ箱は設置いたしません。ゴミやマスク、飲みきれなかったドリンク等は各自で持ち帰り、処分してください。

・設置してあるアルコール消毒などをこまめに利用して感染予防に努めるよう、ご協力ください。

④ 競技中

・マスクの着用は選手の判断によるもの（※）としますが、競技を行っていない間についても特に会話する時には、マスクの着用を求めます。

（※）マスクを着用して運動やスポーツを行った場合、十分な呼吸ができず人体に影響を及ぼす可能性があることや、熱放散が妨げられることで熱中症のリスクが高くなります。また、息苦しさを感じた時はすぐにマスクを外すことや休憩を取る等、無理をしないことも必要です

・可能な限り、他の参加者とは最低1mの間隔を取ってください。

・ハーフタイムでは、マスクの着用、手指のアルコール消毒を推奨します（各シート近くに準備します）。指定された位置で、コーチとの接触を認めますが、密接な接触は避けて競技者の留意事項に準ずる行動をお願いします。

・ハーフタイムでの栄養補給については、チームでの共有、一つの容器から取り分けるのではなく、個人個人で分けたものを準備し、摂取してください。人との距離を取り対面を避けるとともに、会話は控えめに行ってください。また、会場によってはホーム側・ボード側に分かれて行くことを求める場合があります。

・競技の前後及び競技中は、選手どうしの接触は控えてください。（肘タッチ、用具を掲げる等で対応）

・コーチが指示を行う際は、マスクを着用するとともに、選手との距離(できるだけ 2m、最低 1m)を意識して行ってください。なお、指示などに際し支障が生じる場合は、マスクを外してもいいですが、競技上必要最低限に留めてください

⑤競技終了後

・試合で使用したストーン及びブラシ等の用具は試合終了後、競技者自身で消毒してください。(会場内に消毒剤を準備します。また、リンク内にはストーン及びブラシを消毒するために用いたペーパータオル等を捨てるためのゴミ箱は設置しますが、個人のゴミは廃棄厳禁です。)

・コーチ席はその試合で使用したコーチがテーブル及び椅子を消毒してください。

・会議室、選手控室等で食事、休息時に使用したテーブル、椅子、器具等は使用後に消毒して下さい。

・選手控室などで密にならないようご注意ください。

・会場内には滞留せず、速やかに退場するよう、ご協力ください。

・ゴミやマスク、飲みきれなかったドリンク等は放置せず各自で持ち帰り自宅で処分するよう、ご協力ください。

・リンク出入り口のドアノブは運営スタッフにより消毒を行います。

・得点盤の消毒は審判員が競技終了後、消毒を行います。

3)大会終了後

・大会終了後 2 週間の体調管理・検温結果を記録してください。

・大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症への感染が発覚した場合は、JCA 事務局に連絡し、濃厚接触者の有無等についてご報告ください。

(2)競技会運営者(大会役員、競技会役員、審判員)

1)全般/会場派遣まで

・一般的な感染対策を確実に実行してください。

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html#c2>

・現地入り 14 日前からはサージカルマスク、不織布マスクの使用をお願いします。

・毎日の健康(起床直後の検温等)と行動の記録を習慣としてください。また、大会参加時は最低でも現地入り 14 日前から現地出 14 日後までの健康状態、行動内容を健康管理アプリまたは体調管理チェックシートに記録してください。

・大会に参加される方は、大会当日に体調管理チェックシートを提出していただきます。事前送付されるチェックシートに基づき、大会 2 週間前の体調確認・検温結果を記録してください。大会当日、提出していただけない場合や虚偽の記入をされた場合は参加をお断りすることがあります。(参加者から提出された個人情報、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、参加者の健康状態の把握、開催・参加可否の判断及び必要な連絡調整のためだけに使用し、保存期間経過後に責任をもって廃棄します)。なお、参加者の中から、新型コロナウイルス感染症を発症した又は感染の疑いがある方が発見された場合は、必要な範囲で、保健所、行政機関等に情報を提供し、開催地の自治体の対処方針に従い適切に対処することとします。その際には行動内容の提出をお願いします。行動内容が記載されていない場合、提出していただけない場合や虚偽の記入をされた場合は参加をお断りすることがあります。

・同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいないか確認してください。

・新型コロナウイルス感染症が重症化しやすい基礎疾患(糖尿病、心不全、呼吸器疾患、高

血圧、透析を受けている者、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている者等)を持っている者が運営に従事する場合は、そのリスクを十分考慮し、運営にあたってください。但し、競技運営に必要となる人員が十分に確保される場合は、可能な限り運営に係ることを回避してください。

・会場派遣前に、体調不良(例：発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚の異常など)が出現した場合、平素の活動を中止し、かかりつけ医等の最寄りの医療機関又は受診・相談センターに電話相談の上、必要に応じて PCR 検査等を受けてください。

・感染者への対応

大会開催日の2週間前の時点もしくはそれ以降に、PCR 検査もしくは抗原検査で陽性反応があった場合は、競技運営への従事を辞退してください。

・濃厚接触者への対応

保健所から濃厚接触者と認められた場合、14 日間にわたり健康状態を観察する期間を経過し、症状が出ていない場合は競技運営に従事できます。

・感染疑い者(体調不良〔例：発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚の異常など〕の症状があり、PCR 検査もしくは抗原検査で「陰性」であった者、または医療機関を受診しなかった者)への対応

大会開催日の2週間前の時点もしくはそれ以降に感染疑い症状が発症していた場合、インフルエンザ等の新型コロナウイルス以外の感染症のリスクもあるため、原則、競技会運営への従事を辞退してください。但し、次の A 及び B の両方の条件を満たしている場合、競技会運営への従事を認めます。

A. 感染疑い症状の発症後に少なくとも 8 日が経過している(8 日が経過している：発症日を 0 日として 8 日間のこと)。

B. 薬剤を服用していない状態で、解熱後及び症状消失後に少なくとも 72 時間が経過している

・会場地に向けて自宅(または準ずる拠点地)を出発する前に検温を行ってください。

・喫煙は重症化のリスク因子と考えられているため、禁煙を強く推奨します。

2) 会場入りから競技会期間中

① 移動

・ホテル出発前に検温を行い、健康状態を記録してください。

・専用の移動手段を手配することが望ましいですが、公共交通機関を利用する場合は、感染予防の観点から、移動中のマスク(サージカルマスク、不織布マスク)の着用、手指衛生の徹底、必要以上の会話や飲食は避けてください

②ホテル

・部屋割りには、一人部屋が望ましいですが、困難な場合は、極力少人数の部屋割りとなるよう配慮してください。複数人での利用の場合、室内では常時マスクを着用することが望ましいです。また、体調不良者(例：発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚の異常など)の発生により、競技会運営が維持できない状況とならないよう、競技会責任者や担当者の分散配宿や必要以上の接触がないように努めてください。

・部屋の換気を良くし、推奨されている室内湿度である 50~60%に保つよう心掛けてください。

・食事の時は距離(できるだけ 2m、最低 1m)を空けられるようにし、必要以上の会話は控え

てください。やむを得ず会話をする場合は、食事中であってもマスクを着用してください。
・食事の時は、ホテルの指示等に従い、感染のリスクを低減するよう努めてください。

③ 競技会場

- ・競技会場では、設置された消毒液の使用やこまめな手洗いなどによる手指衛生の徹底してください。
- ・競技会場内では競技運営に支障が生じる場合を除き、マスク（サージカルマスク、不織布マスク）を着用してください。大会がマスクを準備するときは、大会が準備したマスクの着用をお願いします。
- ・会場内に入る際は、体温測定を受けてください。また、体調管理チェックシートを必ずご提出ください。※事前に記入を済ませて持参願います。
- ・発熱が確認された場合は、新型コロナウイルス感染の有無にかかわらず、会場への入場や大会への参加をお断りする場合があります。
- ・「3密」空間や飛沫を減らすよう物理的・人的対策を講じてください。

④ 競技中

- ・競技運営に支障が生じる場合を除き、マスク（サージカルマスク、不織布マスク）を着用してください
- ・手指衛生に努め、共用物品の使用は可能な限り控え、共用物品については可能な限り消毒を行ってください。
- ・参加選手の救急対応に備え、飛沫感染防止用のメガネ、ゴーグルや使い捨て手袋などを携帯してください。
- ・選手招集・待機所では大声を出さないよう、拡声器などを用いてください。使用した拡声器については消毒をおねがいします

3) 競技会期間終了後

- ・出発前に体調不良（例：発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚の異常など）がないか確認してください。
- ・移動に際しての留意事項については、「2)会場地入りから競技会期間中」同様の対応を行ってください。
- ・帰宅時に検温を行ってください。
- ・健康（起床直後の検温等）と行動の記録を怠らず、万が一体調不良（例：発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚の異常など）となった場合や、新型コロナウイルス感染者となった場合は、医療機関、保健所等の指示に従うとともに、主催者に速やかに報告してください。

(3) 報道員（それに準ずる者も含む）

- ・事前に申請を行い、承認を得た者のみが参加できます。
- ・現地取材班の人数については、可能な限り最小限に止めてください。
- ・毎日の健康（起床直後の検温等）と行動の記録を習慣としてください。また、大会参加時は最低でも現地入り 14 日前から現地出 14 日後までの健康状態、行動内容を健康管理アプリまたは体調管理チェックシートに記録してください。
- ・大会に参加される方は、大会当日に体調管理チェックシートを提出していただきます。事前送付されるチェックシートに基づき、大会 2 週間前の体調確認・検温結果を記録してく

ださい。大会当日、提出していただけない場合や虚偽の記入をされた場合は参加をお断りすることがあります。(参加者から提出された個人情報、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、参加者の健康状態の把握、開催・参加可否の判断及び必要な連絡調整のためだけに使用し、保存期間経過後に責任をもって廃棄します)。なお、参加者の中から、新型コロナウイルス感染症を発症した又は感染の疑いがある方が発見された場合は、必要な範囲で、保健所、行政機関等に情報を提供し、開催地の自治体の対処方針に従い適切に対処することとします。その際には行動内容の提出をお願いします。行動内容が記載されていない場合、提出していただけない場合や虚偽の記入をされた場合は参加をお断りすることがあります。

- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいないか常に確認してください。
- ・競技会場では、設置された消毒液の使用やこまめな手洗いなどによる手指衛生の徹底をお願いします。
- ・会場内に入る際は、体温測定を受けてください。
- ・競技会場内では常にマスク(サージカルマスク、不織布マスク)を着用してください。
- ・体調不良(例:発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚の異常など)が出現した場合は、主催者に連絡し、平素の活動を中止し、かかりつけ医等の最寄りの医療機関又は受診・相談センターに電話相談の上、必要に応じてPCR検査等を受けてください。
- ・感染者への対応

大会開催日の2週間前の時点もしくはそれ以降に、PCR検査もしくは抗原検査で陽性反応があった場合は、報道員としての参加を辞退してください。

- ・濃厚接触者への対応

保健所から濃厚接触者と認められた場合、14日間にわたり健康状態を観察する期間を経過し、症状が出ていない場合は報道員として参加できます。

- ・感染疑い者(体調不良〔例:発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚異常など〕の症状があり、PCR検査もしくは抗原検査で「陰性」であった者、または医療機関を受診しなかった者)への対応

大会開催日の2週間前の時点もしくはそれ以降に感染疑い症状が発症していた場合、インフルエンザ等の新型コロナウイルス以外の感染症のリスクもある為、原則、報道員としての参加を辞退してください。

(4) 観客

1) 会場に向かうまで

① ご持参いただくもの

- ・各自マスクを必ずご持参ください
- ・手洗い後に使用するタオルやハンカチをご持参するなど感染予防につとめてください

② 体調管理

・毎日の健康(起床直後の検温、体調管理)と行動を記録、確認しご自身で体調管理をお願いします。来場前に「入場をお断りする方」をご確認いただき、該当する場合はご来場を控えてください。

※体調不良による来場辞退の場合、払い戻し対応は致しかねます。あらかじめご了承ください。

③ お守りいただくこと

・公共交通機関を利用する際は、マスクを着用し、可能な限りフィジカルディスタンス(物理的距離)をとり、車内での会話は控えてください。またその交通機関で実施されている新型コロナウイルス感染症対策を遵守するようお願いします。

- ・こまめな手指衛生をお願いします。
- ・人流抑制の観点から、会場への「直行、直帰」にご協力ください。
- ・交通機関や会場周辺の混雑を避けるため、時間に十分余裕をもってご来場ください。また、状況によっては事前に時差来場への協力をお願いする場合があります。
- ・会場内に入る際は、主催者の指示に従い、体温測定を受けてください。発熱が確認された場合は、新型コロナウイルス感染の有無にかかわらず、会場への入場や大会への参加をお断りする場合があります。

2) 入場をお断りする方

次の内容に該当する方

(1) 来場時または来場日から過去2週間以内に以下①～④いずれか1つでも当てはまる方

- ① 体温 37.5℃以上または発熱症状の自覚がある方
- ② だるさ（倦怠感）がある、いつもより体が重く感じる、疲れやすい方
- ③ 咳、のどの痛みなど風邪の症状がある方
- ④ 臭覚や味覚に異常がある方

(2) PCR等検査陽性歴がある方のうち以下①～④いずれか1つでも当てはまる方

・有症状者の場合

- ① 発症日から10日未満、かつ、症状軽快後72時間以内の方
- ② 症状軽快後24時間経過から24時間以上の間隔をあげ、2回のPCR等検査で陰性を確認できていない方

・無症状病原体保有者の場合

- ③ 検体採取日から10日未満の方
- ④ 無症状病原体保有者で、検体採取日から6日間経過後、24時間以上の間隔をあげ2回のPCR等検査陰性を確認できていない方

(3) 濃厚接触者として自宅待機中の方

(4) 家族等の同居者が濃厚接触者として自宅待機中の方

(5) 家族等の同居者に(1)①～④いずれかの体調不良がある方

(6) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある方

(7) マスク非着用の方（※）

※なお乳幼児（2歳未満）は、日本小児科学会の「乳幼児のマスク着用の考え方」により、着用は必須ではないため非該当。

3) 会場滞在時の遵守事項

・入場時・会場内ではマスクを常時着用してください。

但し、熱中症には十分ご注意ください。※2歳未満は不要、未就学児はマスク着用を推奨

・咳エチケット、手洗い手指衛生の徹底、目・鼻・口に不用意に触れない、3密回避を実践してください。

・騒ぐ・大声で会話する等の飛沫感染リスクが高い行為を行わないでください。

・会場内の移動の際は同居者以外の方との距離を可能な限り確保してください。

・会場内では可能な限り目的地（自分の座席、売店、トイレ等）を決めて移動することとし、不必要な回遊等はお控えください。

・観戦時に指定された座席にて観戦ください。但し状況に応じて、新型コロナウイルス感染症対策等のため、主催者より座席の移動をお願いする場合もございます。その場合は係員の指示に従ってください。

4) 会場で具合が悪くなったり、発熱した場合

- ・体調に少しでも異変があった場合は、付近の大会スタッフに申告し、その指示に従ってください。
- ・医療機関への受診を勧奨された場合、受診をお願いします。

5) 応援する際にお守りいただくこと

競技を応援する際は、接触回避、飛沫感染防止の為、以下の応援は行わないでください。

- ・大声や声（指笛等）を発するような応援
- ・タオルなどを振りまわす等の応援
- ・大勢の人が密集状態となるような応援
- ・他の観客やスタッフとのハイタッチや肩を組んでの応援
- ・選手等への握手、ハイタッチ、サイン、声かけ

6) 会場退場時にお守りいただくこと

一斉退場による混雑を回避するために、退場時間帯を分散する規制退場などをお願いすることがありますので指示に従ってください。

7) 観戦後にお守りいただくこと

- ・人流抑制の観点から、会場からの「直行・直帰」にご協力ください。

※路上での飲食、談笑や応援行為、大声で騒ぐ等の行為はおやめください。

・観戦終了後も座席番号が確認できるよう、チケットの半券やデータを最低 14 日間保管ください。

・観戦後に新型コロナウイルスに関する検査を受けて陽性反応が出た場合は、以下の通りの行動をお願いします。

①保健所による行動履歴調査に応じてください。

②行動履歴を確認すべき対象期間（14 日以内）の間に、競技会場で観戦していた場合は、保健所に対してその事実及び観戦日時・座席位置等を申告してください。

2. 新型コロナウイルス感染症に関わる大会可否検討の基準

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により以下となった場合、JCA は大会開催可否について検討します（自動的に大会中止を決定するものではありません）。

1 新型インフルエンザ等特別措置法に基づく緊急事態宣言又はまん延防止等重点措置が発令された場合

2 競技会開催地である自治体（都道府県）独自の緊急事態宣言等の発令またはイベント開催自粛要請がされた場合

3 開催都道府県内医療機関の新型コロナウイルス感染症患者受け入れが対応不可またはその恐れがあると判断した場合

4 競技会に参加している者及び競技運営に係る者に新型コロナウイルス感染症感染者が発生し、競技運営に支障をきたす、またはその可能性が想定される場合

5 その他新型コロナウイルス感染症に起因する事象により大会の開催が困難と想定される場合

3. COVID-19 に関する検査証明について

参加者や大会にかかわる関係者の皆さまは、現地入りする前に検査を行い、感染していないことを確認した後に現地入りして下さい。検査は現地入りの 72 時間以内に行うことを推

奨めます。

日本政府の指定する「COVID-19 に関する検査証明」に記載の方法で検査を受けてください。現時点で承認されている新型コロナウイルス 検査の種類は、核酸増幅検査 (real time RT-PCR、LAMP、TMA、TRC、Smart Amp、NEAR)、次世代シーケンス法、抗原定量検査* (CLEIA) です。[有効な「出国前検査証明」フォーマット | 外務省 \(mofa.go.jp\)](#)

表3 各種検査の特徴

新型コロナウイルス感染症にかかる各種検査										
検査の対象者		核酸検出検査			抗原検査 (定量)			抗原検査 (定性)		
		鼻咽頭	鼻腔*	唾液	鼻咽頭	鼻腔*	唾液	鼻咽頭	鼻腔*	唾液
有症状者 (症状消退者含む)	発症から 9日目以内	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	発症から 10日目以降	○	○	— (※3)	○	○	— (※3)	△ (※2)	△ (※2)	×
無症状者		○	— (※3)	○	○	— (※3)	○	— (※4)	— (※4)	×
想定される主な活用場面		<ul style="list-style-type: none"> 検査機器等の配備を要するものの、無症状者に活用できるため、保健所、地方衛生研究所、国立感染症研究所等の検査専門施設や医療機関を中心に実施。 大量の検体を一度に処理できる機器や操作が簡便な機器など幅広い製品があるため、状況に応じた活用が重要。 			<ul style="list-style-type: none"> 検査機器等の配備を要するものの、現在供給されている検査機器は、新型コロナウイルス感染症にかかる検査以外にも、通常診療で実施される様々な検査に活用できるため、検査センターや一定規模以上の病院等において活用。 検査法によっては、無症状者に対する唾液を用いた検査を空港検疫等で活用。 			<ul style="list-style-type: none"> 目視による判定または小型の検査機器を用いて、その場で簡便かつ迅速に検査結果が判明する。 現状では対象者は発症初日から9日目の有症状者の確定診断に用いられるため、インフルエンザ流行期等における発熱患者等への検査に有効。 		

※1：有症状者への使用は研究中。無症状者への使用は研究を予定している。

※2：使用可能だが、陰性の場合は臨床像から必要に応じて核酸検出検査や抗原定量検査を行うことが推奨される。(△)

※3：推奨されない。(—)

※4：確定診断としての使用は推奨されないが、感染拡大地域の医療機関や高齢者施設等において幅広く検査を実施する際にスクリーニングに使用することは可能。ただし、結果が陰性の場合でも感染予防策を継続すること、また、結果が陽性の場合であって医師が必要と認めれば核酸検出検査や抗原定量検査により確認すること。

*：引き続き検討が必要であるものの、有用な検体である。

COVID-19 病原体検査の指針(第4版)抜粋

自費検査において検査機関を選択し、検査を受ける際に留意すべき事項をまとめましたので、ご参照ください。検査機関についての十分な情報をもとに、自分にあった検査機関を選択してください。また、検査を受けた後も、感染予防に努める注意が必要であることに留意してください。[社会経済活動の中で本人等の希望により全額自己負担で実施する検査\(いわゆる自費検査\)について | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](#)より

【自費検査を利用する者が検査機関を選ぶ際に留意すべき事項】

・発熱や咳などの症状がある場合は、行政検査の対象となりうるので、まずは身近な医療機関に相談してください。

・検査機関で提供される検査の内容、費用、検査結果の通知に要する日数などの基本的な事項を事前に確認しましょう。特に、自費検査の場合、その費用は原則、自己負担となること

に注意が必要です。

- ・医療機関と衛生検査所には、検査の精度を確保するために一定の基準を満たすことが求められています。

- ・検査機関によっては、検査を行い、その結果を通知するのみで、医師の診断を伴わない機関もあります。たとえ検査結果が陰性であっても、医師により感染していないと診断されない限りは、感染していないとはいえません。

- ・医師による診断を伴わない検査で結果が陽性の場合、検査機関に提携医療機関がある場合には、検査を受ける者の同意に基づき、検査機関から医療機関に検査結果（陽性）が報告されます。提携医療機関がない場合には、自分で受診相談センターまたは身近な医療機関に相談しましょう。身近な医療機関を受診する場合、事前に電話で連絡をしてください。相談の結果、医療機関で再度検査が必要になる場合もあります。

- ・医師による診断を伴う検査または提携医療機関等の医師により新型コロナウイルスに感染したと診断された場合には、医師が感染症法に基づく届出を保健所に行うこととなります。医師の診断を受けなければ、このような対応につながらないことから、医療機関又は提携医療機関をもつ検査機関で、検査を受けていただくことが望ましいです。

- ・検査には、その性質上、実際には感染しているのに結果が陰性になること（偽陰性）や、感染していないのに結果が陽性になること（偽陽性）があります。

- ・検査結果は検査時点での感染状況に関するものであって、陰性であっても、感染早期のためウイルスが検知されない可能性やその後の感染の可能性があるため、感染予防に努める注意が必要です。

- ・ [自費検査を提供する検査機関一覧 | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](https://www.mhlw.go.jp)

4. 「濃厚接触者」について

○「患者(確定例)※1」（「無症状病原体保有者※2」を含む）の感染可能期間※3 に接触した者のうち、次の範囲に該当する場合は、

- ・患者(確定例)と同居あるいは長時間の接触(車内、航空機内等を含む)があった者
- ・適切な感染防護無しに患者(確定例)を診察、看護若しくは介護していた者
- ・患者(確定例)の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
- ・その他：手で触れることの出来る距離(目安として1m)で、必要な感染予防策※4 なしで、「患者(確定例)」と 15 分以上の接触があった者

※1「患者(確定例)」とは、「臨床的特徴等から新型コロナウイルス感染症が疑われ、かつ、検査により新型コロナウイルス感染症と診断された者」

※2「無症状病原体保有者」とは、「臨床的特徴を呈していないが、検査により新型コロナウイルス感染症と診断された者」

※3「感染可能期間」とは、発症2日前（無症状病原体保有者の場合は、陽性確定に係る検体採取日の2日前）から退院又は宿泊療養・自宅療養の解除の基準※5 を満たすまでの期間
※4 必要な感染予防策：単にマスクを着用していたかのみならず、いわゆる鼻出しマスクや顎マスク等、マスクの着用が不適切な状態になかったかについても確認されます。

※5 退院又は宿泊療養・自宅療養の解除の基準

- ・有症状者の場合

- ① 発症日から10日間経過し、かつ、症状軽快（解熱剤を使用せずに解熱しており、呼吸器症状が改善傾向である）後72時間経過した場合

- ② 症状軽快後24時間経過した後、24時間以上間隔をあげ、2回のPCR検査で陰性を確認

- ・無症状病原体保有者の場合

- ① 検体採取日から10日間経過した場合

- ② 検体採取日から6日間経過後、24時間以上間隔をあげ2回のPCR検査陰性を確認

【患者周辺の検査対象者の候補】

いわゆる「三つの密（密閉、密集、密着）」となりやすい環境や、集団活動を行うなど濃厚接触が生じやすい環境、同一環境から複数の感染者が発生している事例において、

- ・感染者からの物理的な距離が近い（部屋が同一、座席が近いなど）者
- ・物理的な距離が離れていても接触頻度が高い者
- ・寮などで感染者と食事の場や洗面浴室等の場を共有する生活を送っている者
- ・換気が不十分、三つの密、共用設備（食堂、休憩室、更衣室、喫煙室など）の感染対策が不十分などの環境で感染者と接触した者

○濃厚接触者は速やかに陽性を発見する観点から、現在検査対象者となっており、PCR 検査が実施されます。陰性だった場合にも、濃厚接触者は「患者（確定例）」の感染可能期間の最終曝露日から 14 日間は健康状態に注意を払い、自宅待機が必要ですので、大会に参加することはできません。

○「無症状病原体保有者」の濃厚接触者についても健康観察の対象者とし、「陽性確定に係る検体採取日」の 2 日前からを感染可能期間として入院等されるまでの期間に接触した者を濃厚接触者とされます。検査についても「患者（確定例）」の濃厚接触者と同様の対応とされるので、大会に参加することはできません。

5. 新型コロナウイルス感染症が発生したときの連絡先

【主催者連絡先】

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2 ジャパンスポーツオリンピックスクエア 504

公益社団法人 日本カーリング協会 事務局長 小高正嗣

TEL: 03-5843-0371 / 080-4614-2526

FAX: 03-5843-0372

E-mail: info@curling.or.jp